

これから大切にしたいこと

私は、中学校から4年間、書道部に在籍していて、筆を持ち始めて、今年で11年になります。私を変えてくれた先生は、そんな中学校の頃から4年間、書道部の顧問をしてくださいました先生です。

私は小学校の頃から、何事も長続きしない性分で、すぐ放り出したり、飽きたり、面倒くさくなったりしていました。そんな中途半端な私が、中学1年生の時に選んだ部活が書道部でした。その時も、私は、「3年経ったら次の部活かな。」という軽い気持ちでの入部でした。そして、その部活で私は先生に出会いました。

私が変わったのに、その先生の具体的なエピソードはなく、先生と過ごした4年間の中に、私が今大切にしたいものがいくつも詰まっています。紙に自分の学んだことを表現する楽しさや、向き合うことの大切さ、多くのことをその4年間で学びました。何より、私がいつまでも大切にしたいと思えるものを与えてくれたことに感謝しています。先生を少し避けていた時もありました。けれど、先生はいつでも私たち生徒との対話を大切にしてくださいました。時間をかけて作品について批評をくださいました。そんなたくさんの小さなエピソードが、私に大切にしたいものをいくつも与えてくれ、今、そしてこれからの辛いことを乗り越えるための糧となると確信できます。

私を変えたのは、4年間部顧問であった、書道の先生です。

甲斐 友梨香

(高校生)